

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和5年12月27日

鉏路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 創志会

代表者名 松尾 和仁



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	畑中優周
出張先	松茂町・高松市
期間	令和5年12月21日から令和5年12月23日
用務	松茂町～STEAM教育について 高松市～やしまーるについて
調査(研修) 結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

STEAM 教育について

視察日 令和5年12月21日(木曜日)

視察先 徳島県 松茂町

対応者 松茂町長 吉田 直人氏・松茂町議会議長 川田 修氏

総務部長 松下 師一氏・チャレンジ課長 袴田 智香氏

報告者 畑中 優周

松茂町は人口約 1.5 万人、徳島県北東部に位置し、空の玄関口徳島阿波おどり空港や自衛隊の基地

大塚製薬、サンスターなどの工業団地や東側には、徳島県名産の鳴門金時の畑と瀬戸内海が広がる

穏やかな地域である。

2021 年にオープンしたマツシゲートは、町民交流の場、学びの間、情報発信の場、集客の場、起業支援の場であり、食を通じて地域の活性化や交流を生むフードベースキッチンや共同オフィス、クッキングスタジオ、ものづくりスペース、木工房を備え災害時には復興拠点としての機能も備える松茂町の交流拠点施設である。

ものづくりスペース(ファブスペース)では、3D プリンターやレーザーカッター、UV プリンターなどの工作機械が設置されている。

また、学びの場として STEAM 教育の普及に取り組んでいる。

(STEAM 教育とは、Science(科学)Technology(技術)Engineering(工学)Mathematics(数学)を統合的に学習する「STEM 教育」に Arts(教養/創造性)を統合し、各教科での学習を実社会での課題解決に活かしていくための教科横断的な教育手法である。STEAM 教育は知識があるだけでなく、それを使って何かを生み出したり、問題解決につなげたりして、社会の役に立つことを目指し、5つの分野を総合的に養い、社会の変化に対応できる優秀な人材育成をしていくための教育指針)

松茂町は子どもを今後の IT 社会に順応した競争力のある人材に育てていく為、3 つの小学校と 1 つの中学校にて、プログラミング教育の実践、地域防災、子どもの興味から意欲を引き出す教育、地域創生を

担う未来の子供たちの為、豊かな学びや成長を支えるなど STEAM 教育を行っている。

民間企業のカも借り、教育委員会は「ヴィリング」にも協力を仰ぎ同社は、STEAM 教育スクール「STEMON(ステモン)」を全国で展開するほか、プログラミング教育推進事業者として公教育にも関わってきた実績があり町内にステモンがあった縁から、同社に実践委託業者として連携している。

GIGA 構想の取り組みによってますます STEAM 教育が加速して行く、これからの AI 時代を「自らつくっていく力」を育む教育、その実践の場のひとつがものづくりスペース(ファブスペース)であると説明を受けた。

ファブスペースでは少額の使用料を徴収しているが広報誌などで使用を促す学び隊の募集も行われている。



マツシゲート外観



ファブスペース



パンフレット



パンフレット裏

やしまーるについて

視察日 令和5年12月 22 日(金曜日)

視察先 香川県高松市

対応者 高松市議会議長 白石 義人氏

創造都市推進局観光交流課観光エリア振興室長 南部 隆之氏

//

室長補佐 美濃 吉広氏

報告者 畑中 優周

2013 年に高松市が策定した「屋島活性化基本構想」の具体的施策事業として「屋島の魅力や源平合戦屋嶋城などのガイドンス設備、自然との触れ合い活動の場として屋島を学び、魅力の再発見に役立つよう、観光的な側面と文化的な側面を併せ持つ屋島の情報発信拠点としてホールや広場なども備え、イベントやマルシェにも使える交流施設として 2022 年に屋島山上交流拠点施設「やしまーる」が開館した。

まっすぐに伸びた屋根のような形の屋島は水平な硬岩層におおわれ、周囲の一部を急崖で囲まれたテーブル状の高地で、大きな屋根のように見えることからその名が付いた。

山上には四国霊場八十八箇所第 84 番札所の屋島寺(754 年に創建された由緒あるお寺)がある。

屋島寺は日本三大名狸に数えられる屋島太三郎狸が有名で、ジブリ作品の「平成狸合戦ぽんぽこ」のモデルにもなり、屋島太三郎狸は縁結びや子宝、福運をもたらす神として信仰を集めておりパワースポットとしても人気である。

かつては海に浮かぶ島であったが塩田開発や干拓等で埋め立てられ、山上からは高松市の市街地と南に広がる讃岐山脈、瀬戸内海に浮かぶ島々を一望でき夕景夜景は屈指の美しさであり、高松市民の憩いの場であり大晦日や初日の出などでは相当混雑するスポットである。

屋島一帯は瀬戸内海国立公園並びに国の史跡及び天然記念物にも指定され、歴史深く市民からも愛される観光地であり、「やしまーる」は都市景観大賞都市空間部門大賞を受賞している。

やしまーるは屋島山上の地形に合わせて建築され起伏と曲線がユニークな約200mの回廊型施設でガラス張りで開放感があり屋根瓦には庵治石が使われ光の加減によって色の見え方が変化するのが魅力で周辺の自然環境と調和する中庭の散策も楽しみ、展望スペースからは高松市街地や瀬戸内海の多島美が堪能できる。

名称は公募で決定され、敷地面積は 3416.62m²、建築面積は 1178.58m²、延べ面積は 983.72m² 構造は鉄骨造、壁式鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部 RC 造で発注者は高松市で事業費は約 16 億 4000 万円、3 次元的に蛇行する屋根形状や流線形空間で源平合戦をテーマにしたパノラマアート作品の展示スペースや多目的ホール、展望スペースなどがある施設である。

屋島は昔から市民に愛される場所であり、旅館やお土産屋が多数あった。(観光客誘致の中核的な存在
今でも水族館がある)

釧路市においても図書館、科学館などの跡地を「釧路市のシンボル」的な施設にする為、官民関係者や有識者による「再生協議会」を設立し議論して行くべきと感じた。

